



小阪中学校区
一貫教育

2024年4月26日 金曜日
(令和6年) 第1号

© 小阪中学校区一貫教育担当
東大阪市立小阪中学校
〒577-0805
大阪府東大阪市宝持1-7-5
電話 06-6721-6700
FAX 06-6721-9844

花の盛りもあわただしく去り、いよいよ春も深まってまいりました。入園児、小学1年生、中学1年生を迎え、小阪中学校区の5校園の令和6年度が無事スタートしました。
小阪中学校区(菜の花学園)のめざす子ども像にある

- な・・・なごころ
- は・・・はっしん
- の・・・のびのび
- な・・・なごころ
- は・・・はっしん
- の・・・のびのび
- な・・・なごころ

このような子どもを育成をめざして、教職員と保護者と地域が協力して、教育活動を進めてまいりたいと思っております。どうぞ、1年間よろしくお願いたします。



小阪中学校 校長
根井 加奈美
(ねい かなみ)

小阪中学校に赴任し2年目を迎えました。昨年度は地域の方々による温かい支援の中、小阪中学校70周年式典を迎えることができました。ありがとうございます。

子どもたちは、この「菜の花学園」で、身近な地域や社会とつながり、学び、自らの生き方や社会をよりよく変えていくことを考える大切な時期を過ごしています。

今年度も『学びあい認めあいつながりあう』ことを大切に、子どもたち一人ひとりが個性を發揮し、輝き、自ら未来社会を切り拓く力をつけるべく、こども園、小学校、中学校との連携を密に、15年間連続した学びをすすめます。

5校園ワンチームとなって、「菜の花」のように出会った人を明るく元気にさせる心温かく思いやりを持った子どもたちを育みます。
地域・家庭の皆様のご支援ご協力よろしくお願いたします。



八戸の里小学校 校長
多賀 明彦
(たが あきひこ)

八戸の里小学校は、新1年生が82人入学し、全校児童394人教職員38人で新年度がスタートしました。

菜の花学園では、こども園から中学校までの15年間の学びに連続性と一貫性を持たせ「なごころ はっしん」できるとなごころを目標としております。

本校はこれまで、菜の花学園の「つきたい力」で、特に「聴く」に取り組みんでいます。話す人の方に体と目を向け、静かに最後まで、話す人の考えに寄り添って「聴く」ことができ、対話による探求につながるよう、授業改善に努めて参ります。

今年度も、5校園がそれぞれの良さを伸ばしながら、菜の花学園の目標に向かって組織的に取り組んで参りますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



小阪小学校 校長
谷口 美佐子
(たにぐち みさこ)

未来を切り拓き、生きぬく力を

小阪小学校に赴任して3年目を迎えました。本校は昨年度150周年を迎え、子どもたち、保護者の方々、地域の方々ともにもすばらしい記念式典を開催することができました。ありがとうございます。

現代社会は、予測が難しく、変化が激しいことからVUCAの時代と称されています。

また、知識が主要な資源となり、経済的・社会的発展の推進力となることから、知識集約型社会とも呼ばれています。今の時代を特徴づけるのは、人工知能AIの急速な発展と多くの情報を容易に収集することができることです。しかし、反面、リスクも多く信ぴょう性のない情報等が溢れている。何が正しくて何が間違っているのかを見極め、正しい情報を得て行動する、といったような「生きる力」が必要となってきます。子どもたちには、変化の激しい社会を生きるために未来を切り拓く資質や能力を身につけてほしいと考えています。

小阪中学校区では、「誕生から始まる連続、一貫した教育により一人ひとりの子どもを生きる力を育てる」という理念のもと5校園が連携しながらとりくみを進めてまいります。みなさまのご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



八戸の里東小学校 校長
吉木 優子
(よしき ゆうこ)

今年度より八戸の里東小学校の校長に着任いたしました、吉木優子でございます。どうぞよろしくお願いたします。

4月4日の入学式では80名の新入学児を迎えることができました。ピカピカの1年生が、新6年生と手をつないで式場に入場する様子は何ともほほえましく、とてもあたたかな入学式となりました。「やえひがっこ」のみならずと出会った始業式から、まだ数日しか経っていませんが、どの学年の子どもたちも目を凝らしていねいに挨拶ができること、時間を守って行動できることには毎日感心させられます。きっと、保護者や地域のみならず、子どもたちのかかわりの中でこれらのことを大切に教えてくださっているのだと推察しております。



小阪こども園 園長
南部 優里
(なんぶ ゆかり)

小阪中学校区で15年間連続して取り組む一貫教育では、それぞれの学校の特色も大切にしながら、5校園が同じ目標に向かって日々の教育活動に取り組んでいます。これからは5校園で精一杯力を合わせ、「なごころ はっしん はっしん なかま」と「の実現をめざし、子どもたちを育成してまいります。今後とも、保護者、地域のみなさまのご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新入園児35名を迎え、全園児122名で令和6年度がスタートしました。不安そうなお新入園児と同様、子どもたちの様子が気になり、後髪を引かれるような保護者の様子がたくさん見られます。かわいく、愛おしい子どもたちが、保護者の事を懸命に求めてくる期間はあっという間です。人格形成の基礎を培う大切な乳幼児期に、心身共に豊かに成長できるように、日々の教育保育活動の充実に努めていきたいと思っております。

こども園では遊びや生活を通して「やってみよう」という意欲を育み、友だちと一緒に同じ目的に向かって取り組みを重ねる中で、考えたり工夫したり、頑張りぬく経験を大切にしています。乳幼児期に遊びを通して学んだ事が小学校以降の学習の基盤につながると考えております。

これから子どもたちの健やかな成長のため、温かいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

